

富山テクノポリス建設の中核

富山県工業技術センターオープン

二上山のふもとのメタリックな光を放つ壮大な建物、今、ここで明日の富山を担う新しい生命が胎動しています。

工業技術センターは、本年四月これまでの工業試験場と繊維工業試験場を組織的に統合してできました(図1)。七月、二上にオープンしたのは、この中核的役割を果たす企画管理部と中央研究所です。従来の地場産業の技術を上させ、新材料・光応用技術・情報などの新しい技術の研究を推し進めます。



③実験棟 共同の
 応用研究ができて
 ます。大型試験機・
 実験機・加工機械
 が並び、従来から
 の木材・機械・精
 密・プラスチック・
 塗装加工・包装材
 料の実験をする一
 方、光応用・光計
 測という新しい分
 野の実験も行いま
 す。



▲大型試験機 ▲レーザー装置 ▲木材加工機

また、より優れた研究開発のために当センターでは、レーザー光線を使った数ミクロンの微小な測定から、巨大な機械を使った実験まで、さまざまな試験研究を行います。そして、それを支えるのが、LAN(ローカルエリアネットワーク)です。これは、ホストコンピューターと各室にある端末とを光ファイバーケーブルで結んだもので、情報伝達に大きな力を発揮します。



▲憩いの場テクノプラザ

④技術開発館 研修室は午後九時まで使用でき、終業後の各業種・分野の研修活動に利用していただけます。二階には、特許広報室があります。ここには特許広報十冊を納めました。また情報機器室のコンピューターをたたけば欲しい情報が出てきます。日本特許情報センターや日本科学技術情報センターへもオンラインでき、技術情報の収集・加工・提供、新技術・新製品の紹介の場です。



▲共同研究室

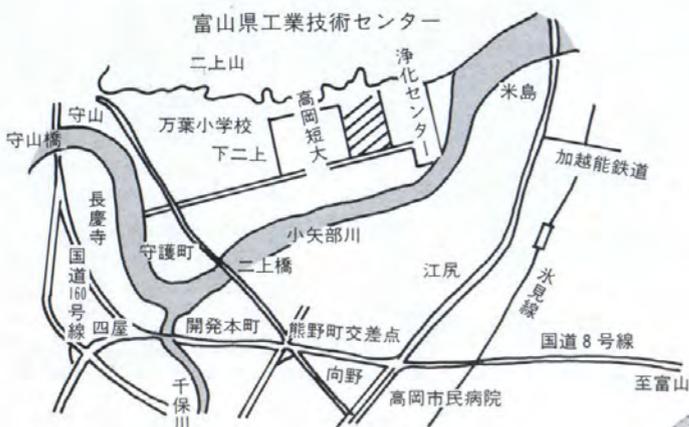
⑤その他 研究で疲れた頭は中庭のようなテクノプラザでやすことができます。また、ここは憩いの場であるだけでなく、大型機械の屋外展示場としても利用できます。

高岡二上地区にオープンした、工業技術センター企画管理部及び中央研究所は、今後隣接する高岡技術短期大学などの学術機関や民間企業との連携を深め、富山テクノポリス建設の中核的中核的な役割を果たしていきます。

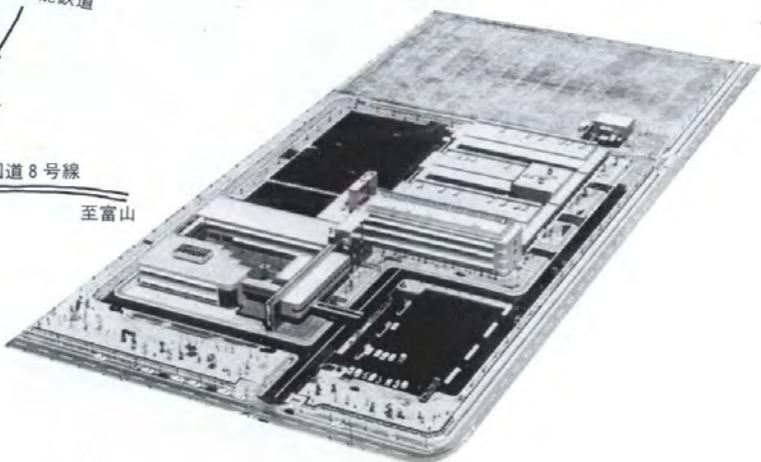
オープン記念行事
 オープン記念行事として12日(土)・14日(月)まで、FMS展(多品種少量生産にマッチした生産システム)、CAD展(コンピューター支援による設計)、AI(人工知能)とCAE(コンピューター支援による設計・製造システム)、LAN展、試作品展、県内工業、工芸製品展を行います。

また、13日(日)・14日(月)には、FA(工場自動化)についての講演を予定しています。詳しくは工業技術センターへお問い合わせください。

<富山県工業技術センター位置略図>



交通：加越能鉄道バス
 高岡駅発(4番のりば)短大経由城光寺
 球場行(約16分)
 短大前下車徒歩3分
 高岡市二上150番地 TEL 0766 (21) 2121



当センターの目的は、研究員による独自の研究を行い、その成果を企業に移転すること。企業からの依頼試験を行うこと。企業との共同研究を行うことです。

施設の概要

①管理棟 管理棟一階には玄関ホール、二階には技術指導室、客員研究室が設けられています。玄関ホールは、ゆつたりとしたスペースがあり、工業製品等の展示が可能です。また、技術指導室では、各種の技術指導が行われ、企業からの相談に応じます。特に客員研究室は、全国から優秀な技術者やその研究開発分野の専門家を招き、技術指導・技術開発の手伝いをしてもらうために設けられたものです。

②共用開放試験棟 ここでは、企業と共同で基礎研究を行います。一階は物理系の研究が中心で、精密測定室や工業計測室等があります。二階では、新材料の研究などを行い、温度・湿度を一定に保つ恒温恒湿室等があります。三階は化学実験用で、有害力処理装置を設け、公害を出さない工夫がされています。また、各階には技術相談室が設けられ企業からの相談に応じます。



▲精密測定室

図1

